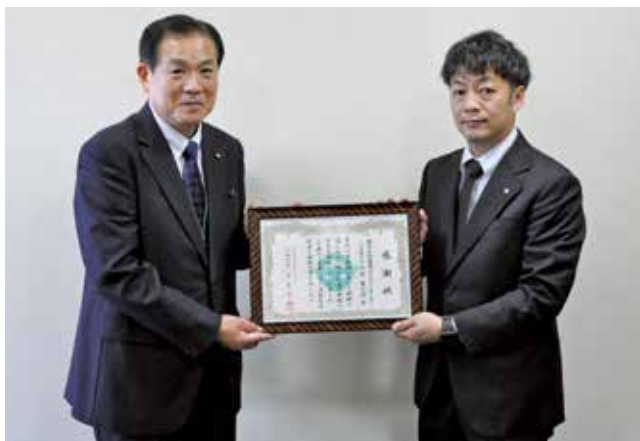




▲中村代表取締役（右）に感謝状を手渡す師富前副町長

町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

3月29日（金）町本庁舎で、本町へ寄附いただいた株式会社建設プロジェクトセンター（熊本市・中村建太朗代表取締役）に感謝状が贈られました。今回、同社からいただいた寄附金は、安定した「しごと」を創出する基盤づくりや関係人口の創出と定住促進などを基本目標とする「甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく事業のために活用します。



▲新入団員を代表し宣誓する野仲希望団員（船津区）

地域と住民の安全を守る 令和6年度甲佐町消防団辞令交付式

4月14日（日）町生涯学習センターで令和6年度甲佐町消防団の辞令交付式が行われ、町消防団の活動がスタートしました。本年度は新入団員13人を加え、5分団28部の総勢353人が地域防災力の要として、消防・防災活動に従事します。式終了後には本部会議や部長研修が行われたほか、消防署員の指導のもと、ホース延長の実技訓練なども実施されました。



▲バケツを使って稚アユを順番に放流する児童ら

緑川で大きくなってね 甲佐小3年生が稚アユ2万1千匹を放流

4月19日（金）中甲橋グリーンパークで、甲佐小学校（谷川裕明校長）の3年生38人が稚アユの放流を体験しました。サントリー九州熊本工場（嘉島町）が環境保全活動の一環として、子どもたちに水環境の大切さを伝えるために2005年から実施。児童たちは緑川漁業協同組合の協力のもと、体長3～4㌢程の稚アユ約2万1千匹を放流しました。



▲認定証を交付する甲斐町長と Kei カンパニー代表のクマガイ佳子さん

新たな特産品として認定 甲佐ブランド「こうさんもん」認定証交付式

4月16日（火）町本庁舎で、甲佐ブランド「こうさんもん」の認定証交付式が行われました。

「こうさんもん」とは、本町を代表する特産品ブランドを作り、農商連携の推進や交流人口の増加を図ることが目的。今回新たに、甲佐産のニラを使用した「甲佐ニラちゃん焼きそば」（Kei カンパニー）が認定され、現在の「こうさんもん」は15品となりました。



▲手を上げて横断歩道を渡る児童たち

交通ルールを守ろう

甲佐小学校で交通安全教室を開催

5月14日（火）甲佐小学校で、交通安全教室が行われました。同教室は、正しい交通ルールを児童が学び、事故の発生を防ぐことを目的として、町が御船警察署と開催。低学年の児童を対象とした訓練では、信号機の見方や正しい道路横断の仕方を実践。中・高学年は、自転車の正しい乗り方や道路の走行方法などの実技訓練を行いました。

非常時の備えを万全に

令和6年度緑川水防演習

5月12日（日）甲佐町中甲橋グリーンパークで令和6年度緑川水防演習が開催されました。

同演習は、緑川流域の市町などが参加する緑川水防演習協議会（甲斐高士会長）が主催。この訓練は、大雨による洪水などの被害を未然に防ぎ、河川の非常時に際して迅速かつ確実に対処し、被害を最小限に止めるために緑川流域の市町や県、国土交通省や陸上自衛隊などが連携・協力して実施。水害の恐ろしさと水防の大切さを広く啓発するために、毎年、梅雨時期前に開催されています。

演習は、梅雨前線の停滞に伴い大雨の恐れがあるという気象条件の想定の下、緑川の氾濫の危険性に応じて各水防団が水防活動を実施。町水防団（田上慎太郎団長）は、増水が早く水が堤防を越えそうなときに堤防の上面に土のうを積み上げて水があふれるのを防ぐ「土のう積み工法」を実践し、迅速な作業を展開しました。



▲参加者を前にあいさつをする甲斐高士町長

本町出身者が集い故郷を思う

第28回東京甲佐会総会・懇親会

4月27日（土）東京都で第28回東京甲佐会総会および懇親会が開催されました。同会（岩本憲章会長）は主に首都圏在住の本町出身者などで構成され、会員相互の親睦と故郷である本町との交流や情報交換などを目的に平成6年に設立。総会では、本町にゆかりのある約40人が出席し、故郷への思いを馳せつつ、交流を図りました。

▼演習で「土のう積み工法」を実施する町水防団の団員たち



▲雨が降る中、演習に臨む町水防団員たち



▲対岸に取り残された要救助者を救出する自衛隊員